

2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年1月31日

上場会社名 ファナック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6954 URL https://www.fanuc.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 稲葉 善治  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 藤井 敬介 (TEL) 0555 (84) 5555  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	496,112	△ 7.4	134,101	△ 20.8	150,537	△ 18.9	128,751	△ 5.5
2018年3月期第3四半期	535,994	37.3	169,235	51.6	185,618	48.4	136,314	47.3

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 122,484百万円(△25.1%) 2018年3月期第3四半期 163,570百万円(87.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	664.23	—
2018年3月期第3四半期	703.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	1,593,104	1,417,182	88.5
2018年3月期	1,728,227	1,467,630	84.6

(参考)自己資本 2019年3月期第3四半期 1,409,964百万円 2018年3月期 1,461,590百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	265.45	—	297.75	563.20
2019年3月期	—	598.19	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2019年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当252円87銭 特別配当345円32銭

(注) 2019年3月期の期末の配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	626,900	△ 13.7	147,900	△ 35.6	164,000	△ 34.3	141,900	△ 22.0	732.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期3Q	204,040,771株	2018年3月期	204,059,017株
2019年3月期3Q	10,208,704株	2018年3月期	10,220,284株
2019年3月期3Q	193,835,133株	2018年3月期3Q	193,849,755株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記述されている業績予想および将来予想は、主要市場における製品の需給動向、競合状況、経済情勢その他に不透明な面があり、実際の業績は見通しと異なる可能性があることをご承知おき願います。なお、2019年3月期の期末の予想配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
3. 注記事項に関する情報 .....	8
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	8
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	8
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	8
(4) 追加情報 .....	8
(5) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期における当社グループの業績は次のとおりです。

FA部門については、CNCシステムの主要顧客である工作機械業界の需要は、国内、欧州、インドおよび米州において高い水準が続きました。しかしながら、米中貿易摩擦の影響により中国、台湾において期の途中から需要が急激に落ち込んだほか、韓国も内需の減速を受け、低調に推移しました。レーザについては、国内、海外において引き続きファイバレーザ発振器の拡販に努めました。これらの結果、FA部門全体の売上高は前年同期に比べ横ばいにとどまりました。

ロボット部門については、国内および欧州が堅調に推移したものの、米州の自動車産業において設備投資の谷間が続いているほか中国で特に一般産業向けが弱い動きとなった結果、ロボット部門全体の売上高は前年同期に比べ横ばいとなりました。

ロボマシン部門については、ロボドリル（小型切削加工機）は、前年非常に活発だった中国のIT関係の一時的需要がなくなったため、大きく減少しました。しかし、IT関係以外の市場では総じて堅調で、特に国内、欧州、インドで販売が伸びました。ロボショット（電動射出成形機）については、前年に引き続き堅調に推移しましたが、ロボカット（ワイヤカット放電加工機）は前年同期に比べやや減少しました。

このようななか当社グループは、「one FANUC」、「壊れない」「壊れる前に知らせる」「壊れてもすぐ直せる」および「サービス ファースト」をスローガンに掲げ、信頼性の高い当社商品およびそのサービスの提供を一丸となって推進し、お客様の効率的で先進的な生産体制の構築と維持に寄与できるよう努めました。またAI技術の当社商品への適用を進め商品化を行うと同時に、IoTへの対応として、従来から取り組んでいるLINK*i*商品の拡販のほか、新たな取り組みであるFIELD system (FANUC Intelligent Edge Link and Drive system)の機能拡張およびアプリケーション（パートナー企業製を含む）の充実を図るとともに、FIELD systemの普及に努めました。

当第3四半期における連結業績は、売上高が4,961億12百万円（前年同期比7.4%減）、経常利益が1,505億37百万円（前年同期比18.9%減）となりました。四半期純利益は、厚生年金基金代行返上益を特別利益として計上したこと等により、1,287億51百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

なお、部門別の売上高につきましては、FA部門が1,667億66百万円（前年同期比0.1%増）、ロボット部門が1,671億28百万円（前年同期比0.04%増）、ロボマシン部門が936億7百万円（前年同期比32.0%減）、サービス部門が686億11百万円（前年同期比6.2%増）でした。

※ [当四半期決算に関する定性的情報] における「四半期純利益」は、損益計算書における「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指します。(当期純利益もこれに準じます。)

(2) 連結財政状態に関する説明

資産合計は、前年度末比 1,351 億 23 百万円減の 1 兆 5,931 億 4 百万円となりました。

負債合計は、前年度末比 846 億 75 百万円減の 1,759 億 22 百万円となりました。

純資産合計は、前年度末比 504 億 48 百万円減の 1 兆 4,171 億 82 百万円となりました。

なお当社は、当社の株主還元方針（2015 年 4 月 27 日公表）に基づき、発行済株式総数の 5%を超える自己株式（18,246 株、163 百万円）を 2018 年 5 月 31 日付で消却いたしました。（本消却に伴う純資産合計額への影響はありません。）

(3) 連結業績予想に関する説明

IT 関係の一時的需要が見込めない状況が続くことに加え、国家間の貿易摩擦の影響の広がりや為替動向などの様々な不透明な要因から、総じて予断を許さない状況が続くものと思われまます。

現時点での 2018 年度（2019 年 3 月期）の連結業績予想は以下のとおりです。

## 通期

(金額：百万円)

	前回発表予想 (2018年10月 29日発表)	今回発表予想	増減率
売上高	626,000	626,900	0.1%
営業利益	150,900	147,900	△2.0%
経常利益	165,300	164,000	△0.8%
当期純利益	142,300	141,900	△0.3%

注) 2019年1月から2019年3月までの期間における為替レートは、平均 100円/ドル、120円/ユーロを想定しております。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	602,329	589,852
受取手形及び売掛金	175,460	114,095
有価証券	145,000	15,000
商品及び製品	71,680	69,661
仕掛品	56,405	56,560
原材料及び貯蔵品	22,033	31,486
その他	30,030	23,976
貸倒引当金	△1,424	△1,166
流動資産合計	1,101,513	899,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	230,204	289,475
土地	143,036	144,967
その他（純額）	112,637	123,972
有形固定資産合計	485,877	558,414
無形固定資産	7,064	8,831
投資その他の資産		
投資有価証券	89,946	80,792
その他	44,198	46,015
貸倒引当金	△371	△412
投資その他の資産合計	133,773	126,395
固定資産合計	626,714	693,640
資産合計	1,728,227	1,593,104

ファナック株(6954)2019年3月期第3四半期決算短信

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,901	38,119
未払法人税等	46,466	9,046
アフターサービス引当金	7,047	8,301
その他	83,686	75,161
流動負債合計	190,100	130,627
固定負債		
退職給付に係る負債	67,562	42,409
その他	2,935	2,886
固定負債合計	70,497	45,295
負債合計	260,597	175,922
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	69,014	69,014
資本剰余金	96,265	96,265
利益剰余金	1,398,977	1,353,904
自己株式	△91,020	△91,007
株主資本合計	1,473,236	1,428,176
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,090	6,667
為替換算調整勘定	△619	△2,759
退職給付に係る調整累計額	△24,117	△22,120
その他の包括利益累計額合計	△11,646	△18,212
非支配株主持分	6,040	7,218
純資産合計	1,467,630	1,417,182
負債純資産合計	1,728,227	1,593,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	535,994	496,112
売上原価	295,732	285,487
売上総利益	240,262	210,625
販売費及び一般管理費	71,027	76,524
営業利益	169,235	134,101
営業外収益		
受取利息	2,324	3,087
受取配当金	1,393	1,365
持分法による投資利益	11,742	11,235
雑収入	3,951	3,764
営業外収益合計	19,410	19,451
営業外費用		
固定資産除売却損	498	727
固定資産撤去費用	255	1,616
雑支出	2,274	672
営業外費用合計	3,027	3,015
経常利益	185,618	150,537
特別利益		
厚生年金基金代行返上益	—	25,081
特別利益合計	—	25,081
税金等調整前四半期純利益	185,618	175,618
法人税、住民税及び事業税	52,815	41,035
法人税等調整額	△3,864	5,507
法人税等合計	48,951	46,542
四半期純利益	136,667	129,076
非支配株主に帰属する四半期純利益	353	325
親会社株主に帰属する四半期純利益	136,314	128,751

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	136,667	129,076
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,387	△6,423
為替換算調整勘定	16,557	956
退職給付に係る調整額	3,295	1,997
持分法適用会社に対する持分相当額	664	△3,122
その他の包括利益合計	26,903	△6,592
四半期包括利益	163,570	122,484
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162,871	122,186
非支配株主に係る四半期包括利益	699	298

3. 注記事項に関する情報

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

- (4) 追加情報

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正)等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

- (5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。